

< ご参考 >

2008年10月22日

以下は、ウォルマート・ストアーズ・インクが本日北京（中国）にて発表した英文リリースの和訳です。

ウォルマート、「責任ある商品調達」に向けた行動計画を発表

グローバル・サプライヤーなどと共に北京で開催した「サミット会議」において、環境と社会の両面から法令遵守、情報開示、説明責任に関して今後求められる新たな達成目標と指針を提示

【2008年10月22日：北京発】ウォルマート・ストアーズ・インク（以下、ウォルマート）は、サステナビリティに関する取組みの一層の深化に向けて、本日、北京市内で主要取引先、中国政府関係者、NGOなどの代表者1,000名余を一堂に集めた大規模な「サミット会議」を開催し、環境と社会の両面で責任あるグローバル・サプライチェーンを構築していくことを目指して、そのために達成すべき目標、お取引先等に求められる指針などの概要について発表しました。

ウォルマート社長兼最高経営責任者（CEO）のリー・スコットは、「『サステナビリティ』とは、結局、事業そのものをより良くしていくことであり、今後小売業者として成功を収める上で、また、お客様の期待に応えていく上で必要不可欠の要件だと考えています。お取引先の工場やそこで生産される商品の品質の改善を進めなければ、将来にわたってお客様からの信頼を確保していくことは出来ません」と述べました。

ウォルマートは、今後、社会及び環境に関連する諸基準への準拠とその超克、イノベーションと効率性の追求、お取引先、政府機関、NGOなどとの協力関係の強化、などに焦点を当てた取組みを展開する方針です。リー・スコットは前述の発言に続けて、「就労者の残業時間や年齢の偽り、有害物質の河川への不法投棄、脱税や契約違反をするような企業は、やがて自社の商品の品質を偽るようになるのです。それは、お客様への背信行為に等しく、我々ウォルマートとして絶対に容認できることではありません」と述べています。

ウォルマート副会長（国際部門統括）のマイク・デュークは、サミット会議に参加した取引先企業に対して、今後ウォルマートとの取引を継続していく上で求められる要件などについて説明した上で、「当社が本日示した目標を達成するためには、お取引先とウォルマートの双方の決意と緊密な協力が不可欠です。双方の関係を更に強く深いものにしていかなければなりません。当社が自らにより高いゴールを課すのと同時に、お取引先に対しても従来以上の水準を求めて行くことになるでしょう」と語りました。

責任ある商品調達

本日のサミット会議では、今後ウォルマートとの取引を継続する上で、お取引先に義務付けられる事項として、以下の内容が発表されました。

- **環境関連の法規制の遵守：** 中国では環境の改善への要求が著しく高まっており、既に各種法令にもそれが反映されています。ウォルマートでは、今後新たに作成される取引契約において、対象工場が地域内の法規制を遵守し、厳格な社会・環境基準に準拠して操業していることを証明す

るよう義務付けるなど、お取引先の法令遵守を徹底する方策を採用していく方針です。こうした契約は、中国国内のお取引先を対象に2009年1月に導入され、その他の全世界の国々にも、2011年までに段階的に導入される計画です。

- **エネルギー効率の改善と天然資源節約に向けたお取引先との連携：** ウォルマートは主要取引先と連携し、中国国内で直接の商品調達先となっている上位200の工場のエネルギー効率を、2012年までに20%改善することを目指します。そのために、関連する情報や好事例を対象となる全ての工場や競合企業などとも共有していく方針です。
- **商品の品質及び安全性に関する基準の向上：** ウォルマートは、2012年までに商品不良による返品をすべてなくすことを目標にします。
- **透明性と説明責任の強化：** ウォルマートは、同社が販売する直接輸入商品の輸入元と、プライベート・ブランド（PB）商品等のサプライヤーに対して、2009年中に、該当商品を製造した全ての工場の名称と所在地に関する情報を提供するように義務付けます。また、ウォルマートが直接商品調達を行っている全てのお取引先に対して、2012年までに、商品生産に必要とされる原材料などの95%を環境活動・社会活動に関して最高レベルの評価を受けている工場から調達するように要請して行きます。

これらに加えて、中国国内においてウォルマート・チャイナがサステナビリティ分野の先進企業として認知されることを目標に、中国国内店舗での環境対策の強化策が発表されました。具体的には、2010年までに、現状よりエネルギー使用量を40%抑えた新店のプロトタイプを完成・開業させると同時に、既存店においても、エネルギー使用量の30%削減を目指す計画です。また、ウォルマート・チャイナでは、設備・システムなどへの新規投資と好事例の紹介・活用を通じて、今後2年間の内に全店での水の使用量を現在の半分に削減していく方針です。更に、ウォルマート・チャイナは、今後環境配慮型商品の品揃えの拡充に一層注力する方針も打ち出しました。

ウォルマート・チャイナの社長兼最高経営責任者（CEO）であるエド・チャンは、中国国内で最も環境への責任を果たす小売業者になるための具体的な道筋を示して、ウォルマートとお取引先及び中国政府の間での緊密な協力の必要性に言及すると同時に、「環境問題は、現在最も緊急を要する課題のひとつであり、特に中国においては、我々ウォルマートに、この分野で独自のリーダーシップを発揮するチャンスが与えられているのです。世界最大の人口と強大な製造業を有する国として、中国ほど環境サステナビリティに関して大きな機会を有する国は他にありません」と述べました。

中国政府は、かねてから環境分野において、積極的な目標設定を行っており、ウォルマートの活動もそうした政府目標と密接に連動しています。その一環として、ウォルマートは本日、中国科学技術省「アジェンダ21」管理センターと覚書を取り交わしました。産業界と政府の双方が利益を享受する連携のあり方を示す好事例になると考えられています。ウォルマート・チャイナは、自社の業務の枠を越えて、お客様やお取引先の積極的な関与を促し、政府やNGOとのパートナーシップを形成しながら、環境への取組みを拡大していく方針です。

今回のサミット会議は、本年1月にリー・スコットが、ウォルマートの全店長に対して行ったスピーチ「未来の企業像」(“Company of the Future”)の内容を踏まえたものです。同スピーチの中では、ウォルマートが中国での事業展開をさらに持続可能なものにし、環境と社会の両面において従来以上に責任あるグローバル・サプライチェーンを構築していくことが公約されていました。

注）今回北京で開催されたサミット会議の様子は、ウェブキャスト（録画）でご覧になれます。詳しくは、<http://www.walmartstores.com> を参照ください。

【ウォルマート・ストアーズ・インクについて】

ウォルマート・ストアーズ・インクは、米国において「ウォルマート」(ディスカウント・ストア)、「スーパーセンター」、「ネイバーフッド・マーケット」、「サムズ・クラブ」を運営しています。米国以外では、アルゼンチン、ブラジル、カナダ、中国、コスタリカ、エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、日本、メキシコ、ニカラグア、プエルトリコ、イギリス、そして合併事業を通じてインドでも事業を展開しています。同社の株式はニューヨーク証券取引所に上場されています(シンボル：WMT)。

ウォルマートに関するより詳しい情報については、www.walmartstores.com をご覧下さい。またオンラインでの商品の販売も www.walmart.com または www.samsclub.com でご利用いただけます。

以 上